

陸上貨物取扱業における人力運搬機を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	11~12	倉庫内において、製品である鋼材の出荷作業中、製品をトロッコ（H60cm、キャスター4つ）を使用して運ぼうと手で押した時に、キャスターの向きが悪かったためバランスを崩し手前に倒れた。その際、トロッコの上に乗っていた製品が両足の大腿部に落下し、乗る状態になったが、右足側に荷重がかかっていたため、右足大腿部を負傷した。	24	1~9
2	14~15	冷凍倉庫内でパン生地のパン卸し作業中、移動式ラックが右に動くようにスイッチを入れた後、作業のし忘れに気付いた。スイッチを止めて、ラックの中に入り、作業をしようとしたところ、スイッチを止めたつもりが勘違いで止まっていなかったためラックも止まらずに動いてきてしまいラックの下の隙間に左足が挟まり負傷した。	31	30~49
2	16~17	業務用エレベーター2階からカゴ台車を載せ、1階で降ろす作業をしていたところ、エレベーター扉のワイヤーロープが切れ、4mの高さから扉が落下した。扉がカゴ台車に衝突し、その衝撃によりカゴ台車が後頭部、背中、臀部に衝突した。前方に跳ね飛ばされるように転倒した。	40	—
2	2~3	荷捌場（ホーム）で台車に接触し転倒した。頭や腕、足を負傷したものである。	70	50~99
3	11~12	1階の出荷バースにて、シュートより流れてくる商品をカゴ車に積み替える作業中、他者がカゴ車を運搬していたが、周辺にカゴ車が散乱しており、作業場所が十分確保できておらず、被災者の左大腿にぶつかった。	46	100~299
3	14~15	作業終了後、空カゴをトラックに積み込む際にゲートのストッパーのspringsが外れてストッパーが格納されず空カゴが倒れてきて、右足の甲を負傷した。	55	30~49

4	17～ 18	競馬場内で物件を積込作業中に、台車をテールゲートに乗せようと足を踏ん張り押ししていたところ、後方から送られていた鉄台車が左足首後部にあたった。	44	100 ～ 299
4	0～1	店舗納品時、1台目のカート台車をゲート上に置き、2台目のカート台車を取りに行く時、1台目のカート台車のストッパー（ブレーキ）をセットしたつもりがセットになっておらず、駐車場所に逆駐車したため車両前方に傾斜がついてるので、1台目のカートが動き出し、次のカートと前方に動き出したカートに足と背中を挟まれる。	68	10～ 29
5	16～ 17	2階出荷場にて出荷商品のピッキング作業中に、棚に次の商品を取りに行こうと商品を載せた平台車を押して移動中、躓いて転倒した。その際に右手を床に着いたため、右手手首を骨折した。	68	50～ 99
5	18～ 19	構内作業場でカゴ車を移動中、カゴ車の向きを修正しようとした際に勢いをつけ過ぎて、左足小指（安全靴の保護部との境目）にカゴ車のコマが乗り上げて負傷した。	28	10～ 29
6	12～ 13	構内のCライン補充庫前で、ダンボール箱を捨て終わって空いたカゴ車をたたみ、補充庫内から前室へ移動しようとした際、カゴ車を内側から押して運んだためにカゴ車のバランスが崩れ、カゴ車が背面側に倒れてしまい、咄嗟に持っていた手を離したが、倒れたカゴ車が左足小指辺りに乗り上げ、左足第五趾骨折となった。	48	100 ～ 299
6	21～ 22	被災者が商品を保冷カゴ車に積み込む作業を行っていた際、カゴ車を所定の位置に置く為に移動してきた作業者のカゴ車が、被災者と接触し、被災した。尚、当時事故の報告が作業責任者になく、災害の事実を確認した者もない。被災者も既に退職しており、加害者も特定できなかったため推測にて記載したものである。	43	100 ～ 299
6	17～ 18	ペットボトル飲料が満載の6輪カートを移動しようとした際、後方が気になり振り返った。その際、カートの勢いがよくて止めきれず、足を前輪で挟んだ事故である。	28	50～ 99
				100

7	11~12	店舗内客席テーブルにおいてお好み焼きを焼いている際に、テーブルが動いた拍子に体勢を崩し、とっさに右手を鉄板の上についてしまい受傷したものである。	63	~ 299
7	16~17	アルミ製品が入った長さ1m×幅15cm、重さ15kgのダンボールを運ぶ途中、アルミ製品が左に傾きバランスを崩して、無理に立て直そうとした際、左手親指を負傷したもの。	45	~ 299
7	20~21	商品（冷蔵食品）を棚補充するために、カゴ車に積載された商品が入ったコンテナをおろす際、胸より高い位置の2段を1度に取り、腰に痛みが走ったが、歩く事もできたため自力で帰宅した。	29	~ 499
7	12~13	倉庫内の職場において、高層棚の上段にある商品をピッキングするために使用する作業車をピック作業ができる位置に移動する際、高層棚の柱と作業車を掴んでいるバーの間に右手を挟み負傷した。作業車の取り扱いは今回が初めてであり、作業車の移動に関して、手袋を着用するなどの指導をしていなかった。	48	~ 999
7	8~9	冷凍庫内での商品搬送中、商品を搭載したカゴ台車を別の部屋に移動させる作業を後ろ向きに行ったため、入口扉の開いているスペースが足りない事に気がつかず、扉と台車の間に右手を挟まれた。捻挫と診断される。	33	10~ 29
7	11~12	当社倉庫内作業フロアでピッキング作業中にピッキングカートにぶつかり右腕・右ひじがはれた。	46	~ 499
7	2~3	カゴ台車を4tトラックに積み込む際、台車をストッパーに固定しようとしたところ、固定状態の確認不足で台車が動き出し、止めようとしたが間に合わず、ストッパーに車輪が引っ掛かり、台車が倒れてきて下敷きになった。	24	10~ 29
7	8~9	倉庫内で4輪カゴ車を運搬中、右足の小指を轆き、安全靴を履いていたが骨折した。カゴ車の重量は、積み荷と合わせて約100kgであった。	47	30~ 49
7	18~19	倉庫内において、発送貨物の仕分、ロールBOXへの積み込み作業中に、車両へ搭載するためにロールBOXを移動していた際、ロールBOXの左側を押したときに力を入れ過ぎ、ロールBOXが遠心力により左側に移動した。ロールBOXを止めようと前方に回り込んだとき、ロールBOXのキャスター部と左足首が接触した。	22	50~ 99

9	13～ 14	折りたたみであるカゴ台車2台を運んでいる時に、カゴ台車がバランスを崩し転倒。その際に左足が下敷きになってしまった。	46	30～ 49
9	8～9	センターのホームでロールボックスパレットを移動中、別の作業をしていた作業員に気付かず、腰の部分にロールボックスパレットを当ててしまう。	26	30～ 49
9	20～ 21	POS35LをLOLからコンテナドーリーの移送後、ドーリーを回転させた。その際ドーリーのフチ部分とコンテナの隙間に手指が入り込む状態であった為、コンテナベース部分が遠心力でフチ部分にずれた時に、右手人差し指が挟まり負傷した。	20	500 ～ 999
9	9～ 10	作業場で、月曜以降の配達荷物を、カゴに入れてホーム下に格納する為、カゴ車をホーム際まで移動させたところ、止まれずにホーム下に転倒した。	41	30～ 49
9	11～ 12	休憩後に作業場へ戻る途中、曲がり角にあったカーゴに気付かず、カーゴ上部角に眉間を打ちつけ負傷したものである。	27	30～ 49
9	4～5	営業所で、平台車にて野菜の仕分け作業中、押している平台車の下に左足が入り、バランスを崩し転倒、手をついた際に左手の薬指をひねり骨折した。	49	100 ～ 299
9	1～2	商品が積まれたパレットをハンドリフトで移動させる際、ハンドリフトがスロープの継ぎ目に引っ掛かり商品が荷崩れを起こした為、右手で抑えようとしたところ、荷崩れした商品が右手小指に当たり被災したものの。	36	100 ～ 299
10	11～ 12	取引先より荷物搬入のために、商品をカーゴテナーに積み移動していた。移動途中誤ってキャスターに足を挟めてしまい、安全靴に保護されていない部分だったため右足小指の付け根部分を負傷した。	32	30～ 49
10	10～ 11	ピッキング作業中にしゃがんで商品を取っていた際に、後方の別の作業員がピッキングカートを進ませてしまい、死角にいた被災作業者に追突する。	31	300 ～ 499
10	16～ 17	自作1階倉庫内において、商品補充の作業中に床に置いてあった、平台車に取りつけてあったビニール紐を踏んだ事により転倒し、右頬、右手、右膝を床に打ちつけ、右膝骨挫傷の怪我をしてしまった。	35	1000 ～ 9999

10	11~ 12	事業所オリコン置き場にて複数の作業員でオリコンを作る際（キャリアの上にオリコンを乗せる作業）に、足元近くに置かれていたキャリアに気付かずキャリアの上に乗ってしまい転倒。手と膝を打ってしまった。	59	300 ~ 499
10	13~ 14	チルド庫内、空ケース荷捌き場で、店舗から戻ってきたシッパー台車から空ケースを降ろす時に、降ろしたケースが床で滑ってしまい一緒に倒れ、膝・腕を床に打ちつけてしまった。	45	100 ~ 299
10	3~4	荷物積載用のカゴ台車（空）42台をトラックにて構内に持ち込み、荷台より所定の位置への荷卸しを行っていた。カゴ台車4台（約120kg）をまとめた状態で移動中に方向転換をした際、カゴ台車のキャスター同士が接触し、ロックした状態となり作業側へ倒れた。安全靴を着用していたが、つま先の鉄板部分外に当たり受傷に至る。右中足骨底、右中足骨体骨折。	25	30~ 49
10	6~7	配送先の店舗にて、トラックの荷台からカゴ車を降ろす際、カゴ車のストッパーに靴ひもが引っ掛かり、靴が脱げた足をカゴ車で轢いて負傷した。	46	100 ~ 299
11	1~2	倉庫内で商品を積載したカートラックの検品作業を行っていた際、カートラック上段に乗っている商品の数を確認する為カートラック下段の中心部分に右足を掛けたところ、カートラックが自身に倒れ込みカートラックと積載商品の下敷きになったが、右足の痛みはあったものの特に異常が無かったのでそのまま就業したが、帰宅後足の痛みが引かない為病院へ行ったところ、骨折と診断された。	65	10~ 29
11	11~ 12	商品を搬送中、通路に置いていたカートラに足を引っ掛け転倒し、右膝を打った。その時は大丈夫と思い痛みはあったが作業を続けた。翌日、通常通り出勤し作業をしたが、痛みが続いた。帰宅後も痛みがひかず、夜に連絡があり、翌日通院した。	21	100 ~ 299
12	20~21	配送途中の店舗にて納品時、台車へ飲料ケースを載せ、段差のある入口スロープをさがろうと低い姿勢から台車を押した際、ふくらはぎに痛みが走り負傷したものである。	43	100 ~ 299
		4tゲート冷蔵車にて、カゴ台車に積載された食品の輸送を行っていた。店舗に到着し、ゲートに台車を2台ずつ並べて荷下ろし作業を始めた。10台目くらいの台		10~

12	8~9	車を下ろしかかった時、左側の台車の上部貨物が重く、足でストッパーを外したところ、台車が倒れかかり、台車を支えきれずに倒れてしまい負傷した。	41	29
12	11~12	事業所内で従業員口へ向かう際、搬送用カートを搬出入していた作業員が被災者に気づかず搬出入した為、接触し転倒した。	62	100 ~ 299
12	16~17	4階にてバラピッキング作業中、後方から来た他の作業者のピッキングカートが腰に衝突した。反対方向を向いていた為、接近には気付かなかった。加害者は通路に入った時点で前方に作業者がいなかった為、前方をよく確認せずに発進してしまった。翌々日に通院し、腰椎打撲傷と診断された。	49	100 ~ 299
12	2~3	センターにて、こんにゃくの箱28ケース（280kg）を積んでいたカゴ車を、トラック庫内へ積み込もうとしていた。本人がトラック庫内から引っ張り降ろす際、センターと庫内の段差が約10cmあり、バランスを崩して、カゴ車の下敷きになった。	52	30~ 49

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html